

2021年1月29日

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

 **日本調剤株式会社**
(東証一部/証券コード 3341)

決算ハイライト

■ 調剤薬局事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により既存店は厳しい状況が継続する中、前期から進めている全社を挙げたコスト削減施策が想定以上に奏功

■ 医薬品製造販売事業

- ・市場規模の大きな新製品の発売を含む自社製造品の売上急拡大により利益率が大幅に向上

■ 医療従事者派遣・紹介事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による急激な薬剤師派遣マーケットの需要変化により、売上高・営業利益ともに大きく減少

連結 損益計算書

調剤薬局事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、前期に出店した65店舗の業績への寄与などにより、前年同期比104.7%となった。営業利益は、全社を挙げたコスト削減施策を進めたこと及び医薬品製造販売事業の新規収載品の好調な販売などにより、前年同期比102.4%、修正予想比では112.8%となった。

(単位：百万円)	19/3 3Q実績	20/3 3Q実績	21/3 3Q修正予想	21/3 3Q実績	修正予想比 増減額	修正予想比	前年同期比
売上高	183,404	199,040	207,449	208,337	888	100.4%	104.7%
売上原価	152,731	164,688	171,023	171,658	635	100.4%	104.2%
売上総利益	30,672	34,351	36,426	36,679	253	100.7%	106.8%
対売上比	16.7%	17.3%	17.6%	17.6%	—	—	—
販売管理費	26,287	28,719	31,332	30,911	△421	98.7%	107.6%
対売上比	14.3%	14.4%	15.1%	14.8%	—	—	—
消費税等	9,733	11,452	13,379	13,665	286	102.1%	119.3%
研究開発費	1,871	2,110	2,224	2,039	△184	91.7%	96.7%
営業利益	4,385	5,632	5,093	5,767	674	113.2%	102.4%
対売上比	2.4%	2.8%	2.5%	2.8%	—	—	—
経常利益	3,855	5,449	4,929	5,773	844	117.1%	105.9%
対売上比	2.1%	2.7%	2.4%	2.8%	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,369	3,059	2,804	3,410	606	121.6%	111.5%
対売上比	1.3%	1.5%	1.4%	1.6%	—	—	—
1株あたり 当期純利益(円) ※	75.26	102.03	93.51	113.74	20.23	121.6%	111.5%

※ 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

連結 貸借対照表

資産の主な増減要因は、商品及び製品の増加約46億円、現金及び預金の減少約20億円。
負債の主な増減要因は、買掛金の増加約59億円、未払法人税等の減少約39億円。

(単位：百万円)	20/3 3Q末	20/3 期末	21/3 3Q末	前期末比 増減額	前期末比
流動資産	87,384	87,414	92,421	5,007	105.7%
固定資産	102,446	98,137	96,301	△1,835	98.1%
有形固定資産	69,216	66,082	64,613	△1,469	97.8%
無形固定資産	21,432	19,425	19,549	123	100.6%
投資その他	11,797	12,628	12,138	△490	96.1%
資産合計	189,831	185,551	188,723	3,171	101.7%
流動負債	78,189	70,107	80,513	10,405	114.8%
固定負債	68,241	68,370	58,459	△9,911	85.5%
負債合計	146,431	138,478	138,973	494	100.4%
純資産合計	43,399	47,072	49,750	2,677	105.7%
自己資本	43,399	47,072	49,750	2,677	105.7%
自己資本比率	22.9%	25.4	26.4%	—	—

調剤薬局事業 損益計算書

新型コロナウイルス感染症の影響により、処方箋単価の上昇と処方箋枚数の減少が継続したが、前期出店した65店舗の通年効果などにより、売上高は前年同期比106.1%となった。営業利益は各種コスト削減を強力的に推し進めたことなどにより、前年同期比106.2%、修正予想比では107.5%となった。

(単位：百万円)	19/3 3Q実績	20/3 3Q実績	21/3 3Q修正予想	21/3 3Q実績	修正予想比 増減額	修正予想比	前年同期比
売上高	155,703	170,695	180,080	181,125	1,044	100.6%	106.1%
売上原価	133,346	145,386	152,565	153,347	781	100.5%	105.5%
売上総利益	22,356	25,309	27,514	27,777	263	101.0%	109.8%
対売上比	14.4%	14.8%	15.3%	15.3%	—	—	—
販売管理費	16,321	18,727	21,010	20,786	△224	98.9%	111.0%
対売上比	10.5%	11.0%	11.7%	11.5%	—	—	—
営業利益	6,035	6,581	6,504	6,991	487	107.5%	106.2%
対売上比	3.9%	3.9%	3.6%	3.9%	—	—	—
期末店舗数	597	641	682	670	△12	98.2%	104.5%
1店舗あたり売上高	263	275	270	274	4	101.5%	99.6%

- ・単位未満切り捨て
- ・各期末店舗数は物販店舗を含む
- ・1店舗あたり売上高：調剤セグメント売上高/期中平均店舗数

医薬品製造販売事業 損益計算書

売上高は、2019年12月、2020年6月及び2020年12月の新規薬価収載品の販売が好調であったことなどにより、前年同期比108.2%となった。営業利益は、コスト削減の取り組みに加えて自社製造品目の販売拡大に伴い利益率が改善したことなどにより、前年同期比143.7%、修正予想比では120.7%となった。

(単位：百万円)	19/3 3Q実績	20/3 3Q実績	21/3 3Q修正予想	21/3 3Q実績	修正予想比 増減額	修正予想比	前年同期比
売上高	30,664	32,564	35,111	35,235	123	100.4%	108.2%
売上原価	25,755	27,599	29,716	29,668	△47	99.8%	107.5%
売上総利益	4,909	4,965	5,394	5,566	171	103.2%	112.1%
対売上比	16.0%	15.2%	15.4%	15.8%	—	—	—
販売管理費	3,723	3,430	3,567	3,360	△206	94.2%	98.0%
対売上比	12.1%	10.5%	10.2%	9.5%	—	—	—
営業利益	1,185	1,534	1,827	2,205	377	120.7%	143.7%
対売上比	3.9%	4.7%	5.2%	6.3%	—	—	—

・単位未満切り捨て

医療従事者派遣・紹介事業 損益計算書

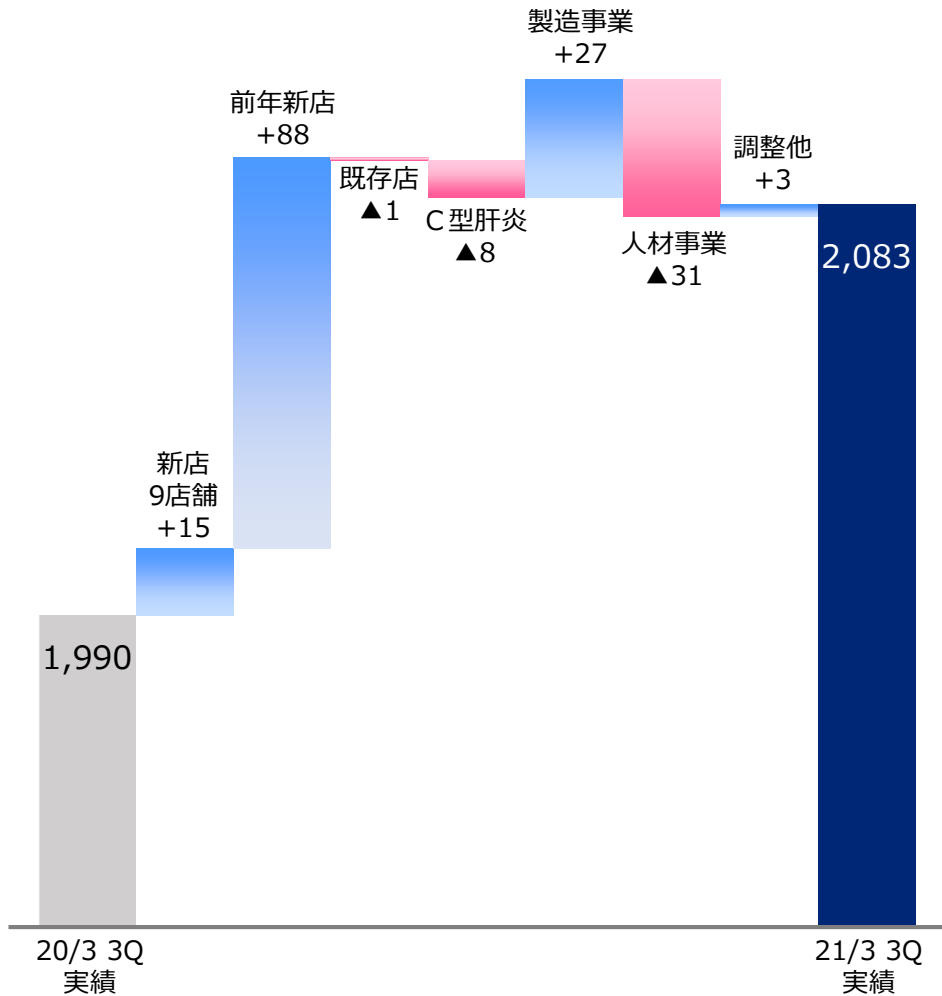
薬剤師需要の変化により、派遣から紹介へシフトを進めていたところに、新型コロナウイルス感染症の影響が重なり、薬剤師派遣が大幅に減少し減収減益となった。一方、薬剤師・医師の紹介事業は堅調に推移した。

(単位：百万円)	19/3 3Q実績	20/3 3Q実績	21/3 3Q修正予想	21/3 3Q実績	修正予想比 増減額	修正計画比	前年同期比
売上高	9,706	9,737	6,787	6,644	△143	97.9%	68.2%
売上原価	6,058	5,607	3,163	3,187	23	100.8%	56.8%
売上総利益	3,647	4,130	3,624	3,456	△167	95.4%	83.7%
対売上比	37.6%	42.4%	53.4%	52.0%	—	—	—
販売管理費	2,591	2,687	2,833	2,803	△30	98.9%	104.3%
対売上比	26.7%	27.6%	41.7%	42.2%	—	—	—
営業利益	1,056	1,442	790	653	△137	82.6%	45.3%
対売上比	10.9%	14.8%	11.6%	9.8%	—	—	—

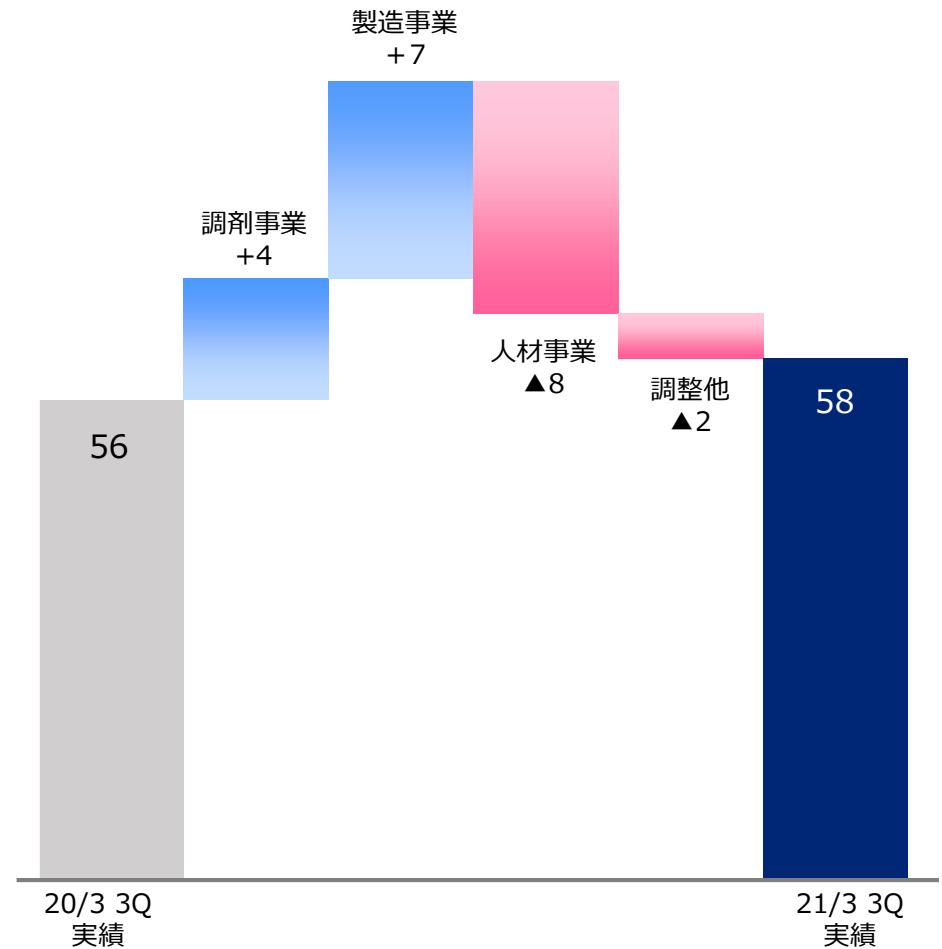
・単位未満切り捨て

〔参考資料〕 連結 前年同期比増減要因

売上高 (単位：億円、単位未満四捨五入)

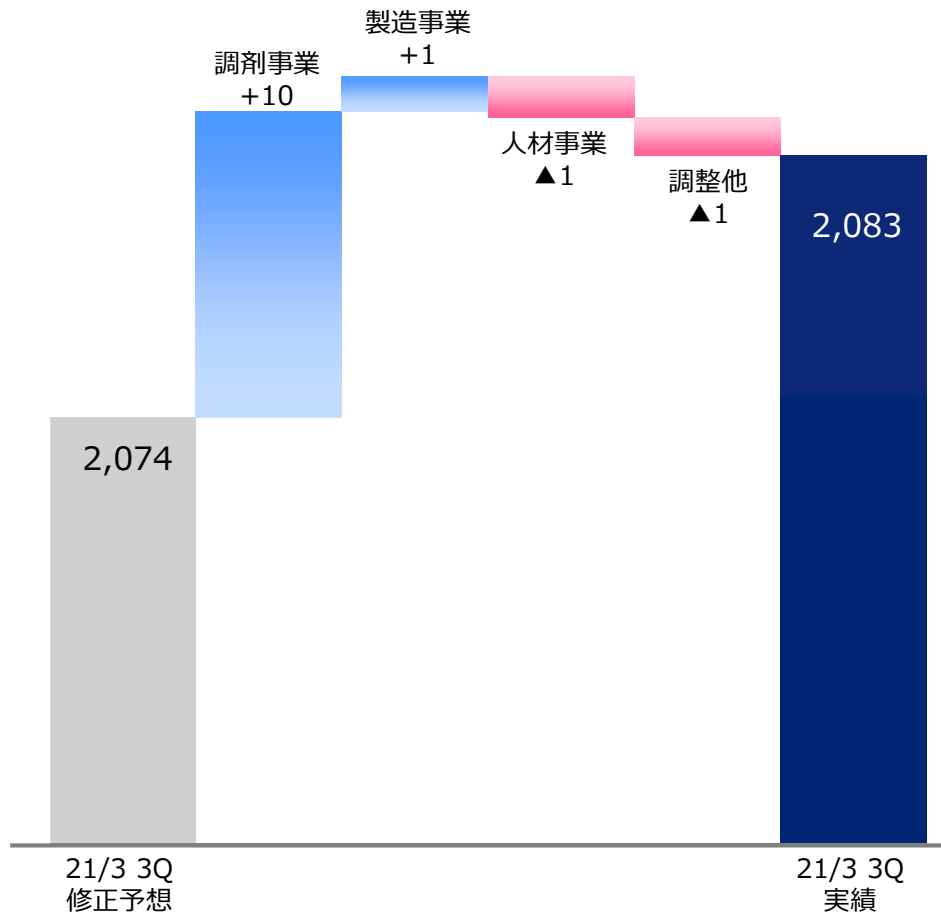


営業利益 (単位：億円、単位未満四捨五入)

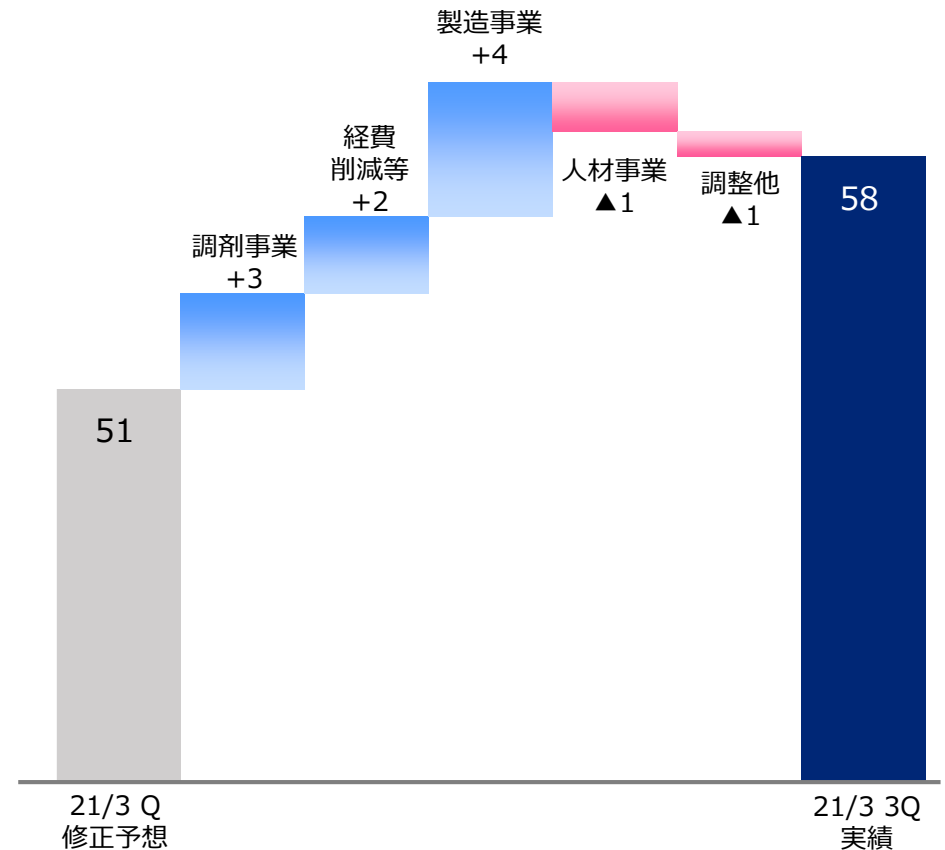


〔参考資料〕 連結 計画比増減要因

売上高 (単位：億円、単位未満四捨五入)



営業利益 (単位：億円、単位未満四捨五入)



成長戦略

■ バランスを重視した出店

未来の薬局を見据えた“自力出店 と M&A”、“門前薬局とハイブリッド型薬局”などのバランスを重視した出店による規模拡大

調剤薬局事業

■ 医薬品製造販売事業の拡大

研究開発投資による自社承認品目の増強および収益力向上

医薬品製造
販売事業

■ 医療従事者派遣・紹介事業の拡大

紹介事業の強化および新たな事業分野の拡大

医療従事者
派遣・紹介事業

バランスを重視した出店①

自力出店とM&Aによるバランスの良い出店を継続。M&A案件は増加傾向にあることから、将来性のある店舗を積極的にM&Aに取り組む。

出店数 自力出店とM&A

	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 3Q
出店	29	27	42	36	32	65 ※	25
自力出店	28	22	21	23	26	35	19
M&A	1	5	21	13	6	30	6
閉店	12	11	12	8	19	13	5
期末店舗数	511	527	557	585	598	650	670

・物販店舗1店舗を含む

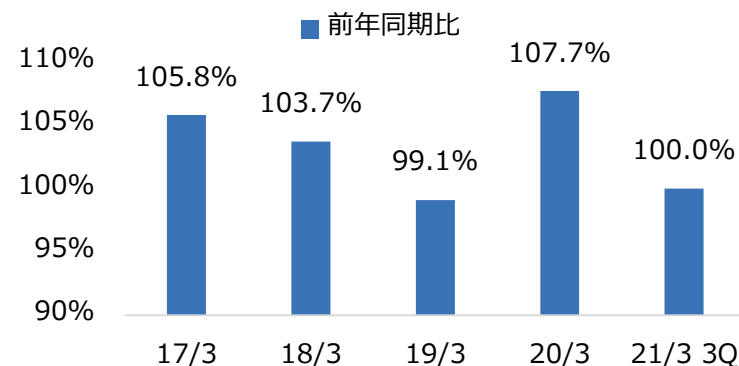
※物販店舗から調剤薬局への業態変更1店舗を含む

21/3 3Q 調剤薬局事業実績（前年同期比）

	調剤売上高	処方箋枚数	処方箋単価
既存店	100.0%	90.0%	111.1%
前年出店	547.9%	479.9%	114.2%
全店	105.8%	96.2%	110.0%

処方箋枚数 10,579千枚 処方箋単価 16,833円

既存店の調剤売上高推移



バランスを重視した出店②

門前・敷地内、ハイブリッド型店舗について、バランスを重視した出店を継続。専門医療機関連携ができる門前・敷地内薬局、地域連携ができるハイブリッド型薬局の出店と、それに対応した人材投資を実施。

出店数 門前薬局とハイブリッド型薬局

	20/3	21/3 3Q
出店	65	25
門前・敷地内	38	12
ハイブリッド型	27	13
閉店	13	5
期末店舗数	650	670

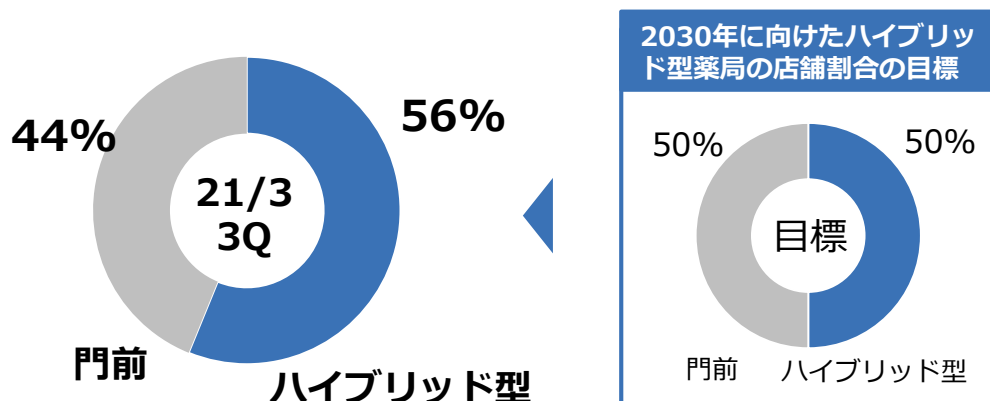
※物販店舗1店舗を含む、移転による敷地内出店を含む

出店エリア

- 全国 ▶ 門前・敷地内出店
- 都市部 ▶ ハイブリッド型出店

地域	出店数		期末店舗数	
	21/3	3Q	21/3	3Q
北海道		2		45
東北		2		50
関東		12		338
甲信越		1		25
東海		1		58
関西・北陸		6		78
中国・四国		0		39
九州・沖縄		1		37
合計		25		670

1都3県における店舗割合



医薬品製造販売事業の拡大①

2021年3月期業績

薬価改定による薬価引き下げの影響を受け、医療用医薬品市場全体の売上高は前年同期比マイナスで推移。当社では販売数量を大幅に増加させたことにより、厳しい市場環境ながらも1Q・2Q・3Qともに増収増益となった。

前年同期比	当社 医薬品製造販売事業 (1Q累計)	当社 医薬品製造販売事業 (2Q累計)	当社 医薬品製造販売事業 (3Q累計)
売上高	+11.0%	+8.4%	+8.2%
営業利益	+4.4%	+0.7%	+43.7%

市場環境

- 後発医薬品市場では、2回の薬価改定が実施され、前年同期比△13%前後※と大幅な薬価引き下げとなった。
 - 2019年10月 10%前後の引き下げ
 - 2020年4月 3%前後の引き下げ
- 新型コロナウイルス感染症の影響による患者の受診控えもあり、医療用医薬品の売上高は前年同期比マイナスで推移（IQVIA医薬品市場統計 売上データ 2020年4月～6月 -2.5%、2020年7月～9月 -5.1%）。

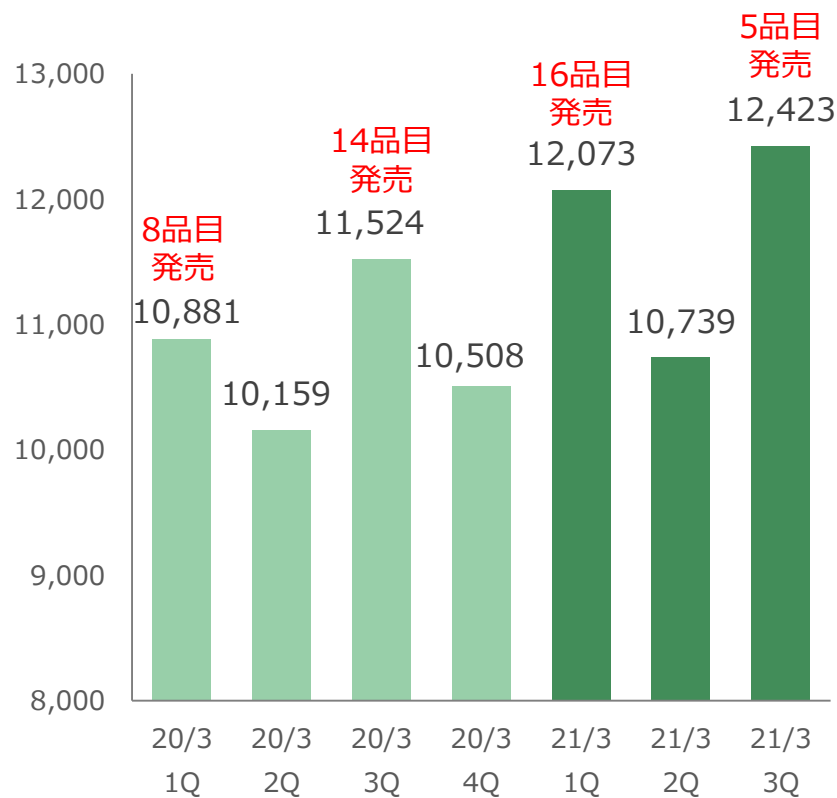
※各社薬価改定率を参考に当社作成

医薬品製造販売事業の拡大②

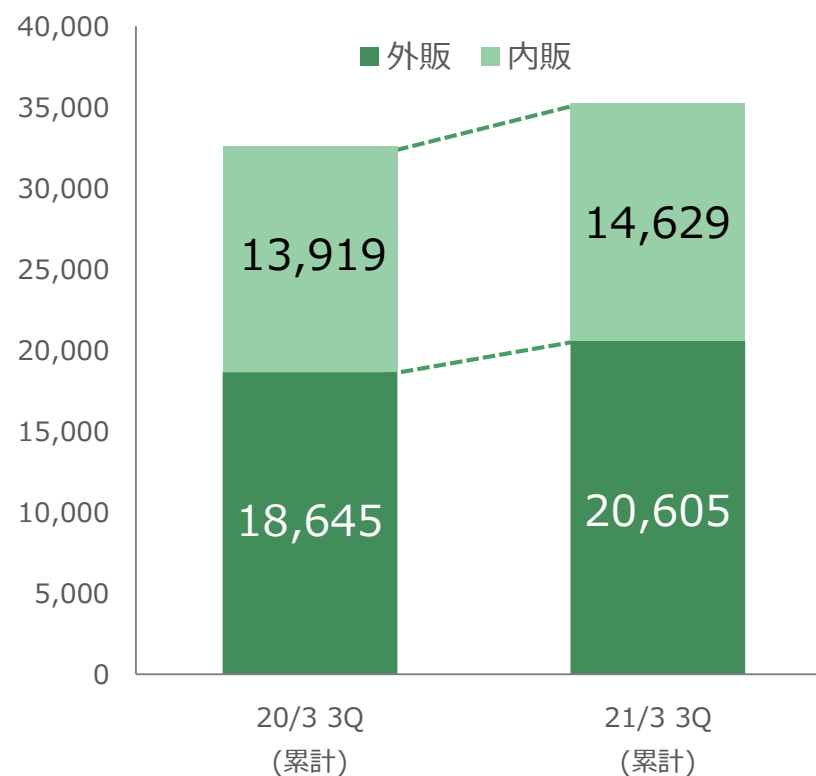
新規薬価収載のたびに売上高が順調に増加。厳しい市場環境ではあるものの、販売強化により外部売上高が拡大している。

売上高の推移とその内訳

■ 売上高推移 (単位：百万円)



■ 内・外別売上高推移 (単位：百万円)



新規薬価収載品目

■ 2020年6月新規薬価収載品目：16品目

後発医薬品への変換
可能規模（推定※） **1,010** 億円

名称	
セレコキシブ錠 100mg「JG」	メマンチン塩酸塩OD錠 20mg「JG」
セレコキシブ錠 200mg「JG」	ガランタミンOD錠 4mg「JG」
エゼチミブ錠 10mg「JG」	ガランタミンOD錠 8mg「JG」
レボセチリジン 塩酸塩錠5mg「JG」	ガランタミンOD錠 12mg「JG」
イミダフェナシン錠 0.1mg「JG」	デュタステリドカプセル 0.5mgAV「JG」
イミダフェナシンOD錠 0.1mg「JG」	タダラフィル錠 2.5mgZA「JG」
メマンチン塩酸塩OD錠 5mg「JG」	タダラフィル錠 5mgZA「JG」
メマンチン塩酸塩OD錠 10mg「JG」	ラベプラゾールNa錠 5mg「JG」

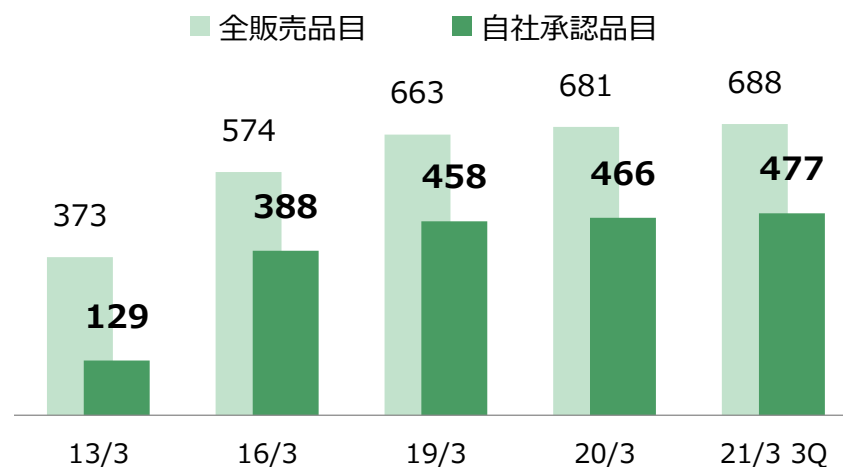
※先発品の年間使用数量に、日本ジェネリックの薬価をかけ当社試算

■ 2020年12月新規薬価収載品目：5品目

後発医薬品への変換
可能規模（推定※） **471** 億円

名称	
プレガバリンOD錠 25mg「JG」	シロドシンOD錠 2mg「JG」
プレガバリンOD錠 75mg「JG」	シロドシンOD錠 4mg「JG」
プレガバリンOD錠 150mg「JG」	

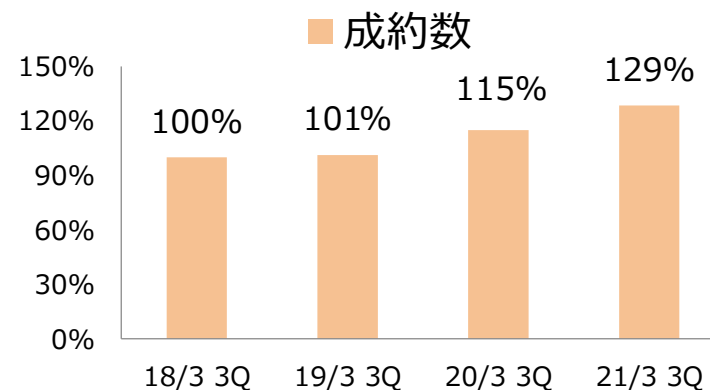
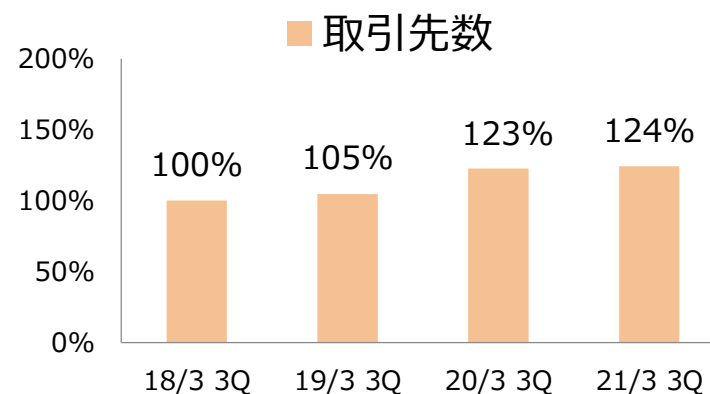
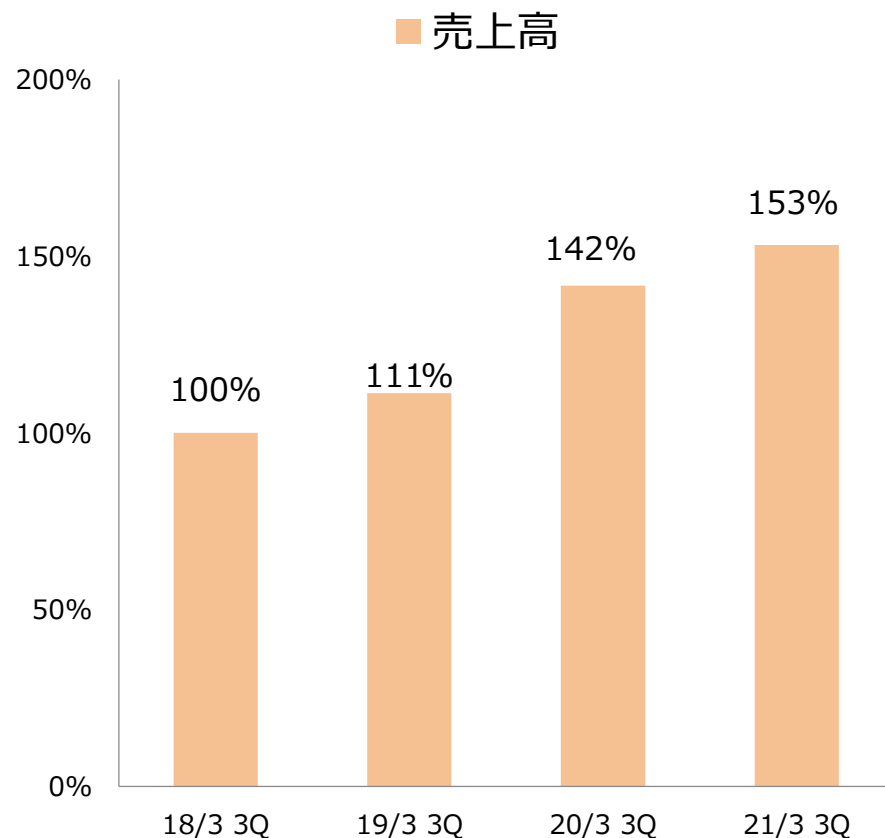
■ 販売品目数



医療従事者派遣・紹介事業の拡大①

薬剤師の求人需要の変化に伴い、紹介事業へのシフトを進めていた中、新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣需要が大きく減少。一方、紹介需要は引き続き底堅く、薬剤師紹介事業の売上高は増加。

薬剤師紹介事業の拡大



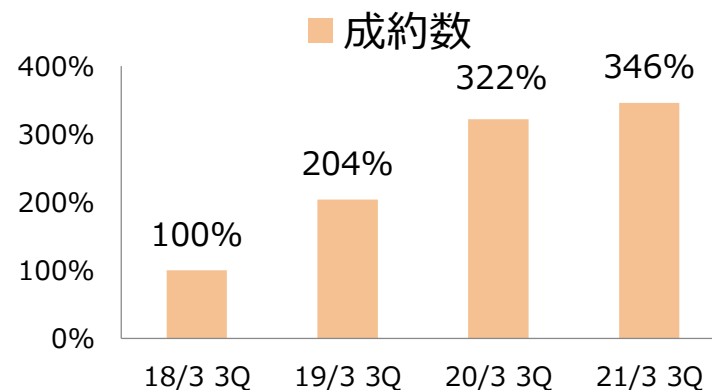
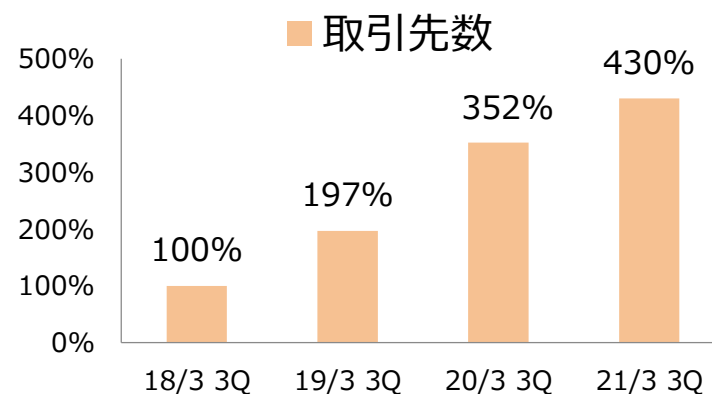
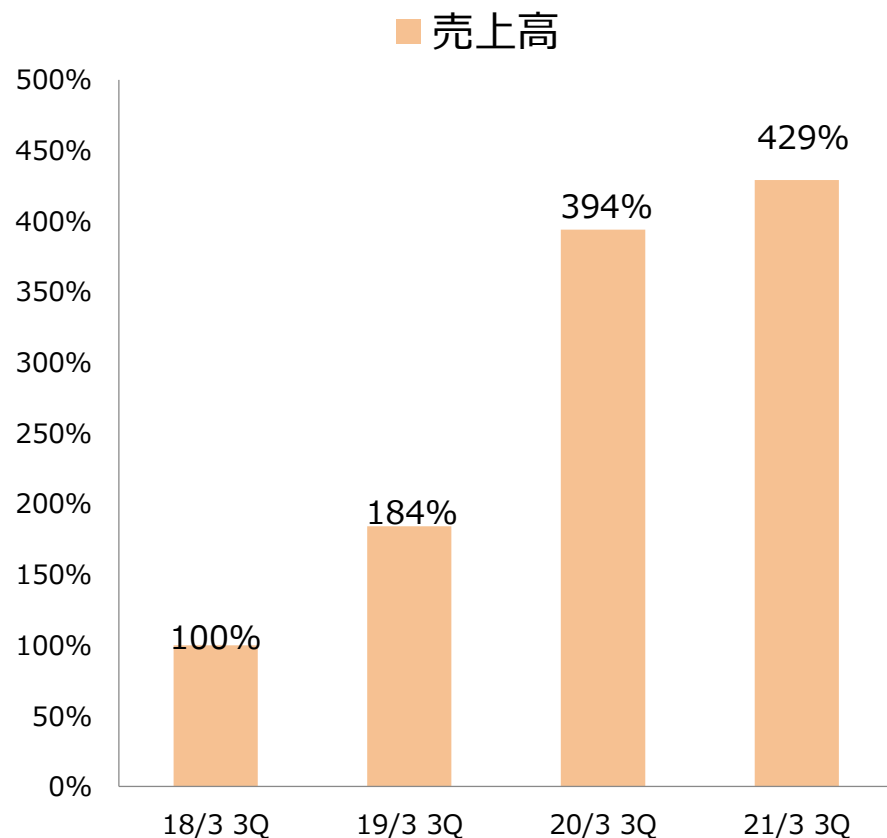
求人登録→マッチング→**成約**→売上

18/3期3Qの売上高・取引先数・成約数を100%とした売上高・取引先数・成約数の推移

医療従事者派遣・紹介事業の拡大②

医師紹介事業は、新型コロナウイルス感染症による影響下においても引き続き高い成長力を維持しており、継続して事業が拡大。

医師紹介事業の拡大



求人登録→マッチング→**成約**→売上

18/3期3Qの売上高・取引先数・成約数を100%とした売上高・取引先数・成約数の推移

注意事項

本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のために作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【IRお問い合わせ先】



〒100-6737

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37階

Tel : 03-6810-0818

E-Mail : ir-info@nicho.co.jp

IR専用ページ : <https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/>

担当 : 経営企画部 IR担当